

〔海況概要〕

今週の本県近海の表面水温は、14～21℃台を示し、平年並みの水温でした。

〔漁況概要〕

- 中小型まき網――西彼地区では、ゴマサバなどが1日1統当たり25トンの水揚げで、前週の6.3倍（前年を上回った）。五島奈留地区では、マサバなどが1日1統当たり7トンの水揚げ（前年を上回った）。北松南部地区では、マアジなどが1日1統当たり15トンの水揚げで、前週の2.5倍（前年を下回った）。
- イカ釣――スルメイカは、対馬東岸地区では1日1統当たり0.2kgの水揚げ（前年を下回った）。壱岐勝本地区では、1日当たり10kgの水揚げ（前年を下回った）。ケンサキイカは、対馬東岸地区では1日1統当たり22kgの水揚げで、前週の2.4倍（前年を上回った）。
- 定置網――五島有川地区では、マアジなどが1日1統当たり80kgの水揚げ。五島魚目地区では、ブリなどが1日1統当たり457kgの水揚げ。対馬西岸地区では、マアジなどが1日1統当たり114kgの水揚げ。対馬東岸地区では、ケンサキイカなどが1日1統当たり131kgの水揚げ。
- 一本釣――北松宇久地区では、ヒラマサが1日当たり108kgの水揚げで、前週の1.7倍（前年を下回った）。

〔日本海スルメイカ情報〕

今期（12/15～12/19の5日間）沖合イカ釣（船凍船）は、時化で各地入港。沿岸イカ釣（氷蔵船）は、壱岐・対馬及び佐渡沖～山形沖で僅か操業船あり。鳥取県西部（沖合船）入港船なし。
（漁業情報サービスセンターより）

〔お知らせ〕

次回の週報は、令和5年1月13日（金）の発行になります。

漁海況通信「第4-30号 五島灘・五島西沖・対馬東水道の観測結果」「第4-31号 6県ケンサキイカ情報（令和4年度 第7号）」を発表しました。漁海況週報や漁海況通信は、長崎県庁ホームページ「地方機関 総合水産試験場」の「漁海況情報」からご覧いただけます。

<https://www.pref.nagasaki.jp/section/suisan-shiken/index.html>